



東日本大震災

八戸市の記録

第11章

震災1周年行事

11-1 震災 1 周年行事

1 東日本大震災追悼式・復興祈念式典

東日本大震災で亡くなられた全ての方々を追悼するとともに、今回の震災を記憶にとどめ、今後の復興に向けた気運の醸成を図ることを目的に、震災1周年を迎えた平成24年3月11日に、被災者など約570人が参加して、「青森県東日本大震災追悼式・復興祈念式典3.11～あの時の思い、これからの想い～」を開催した。

追悼式では、政府主催の追悼式が生中継され、全国で黙とう前後の時間を共有した。引き続き行われた復興祈念式典では、三村知事の式辞や中学生の意見発表などが行われ、復興への誓いを新たにした。

【式典の概要】

- 1 主催：青森県 共催：八戸市、三沢市、おいらせ町、階上町
- 2 日時：平成24年3月11日(日) 14：30～16：00
- 3 場所：八戸グランドホテル
- 4 プログラム

【追悼式】

- 1 天皇皇后両陛下御臨席
- 2 開式の辞
- 3 国歌斉唱
- 4 黙とう
- 5 式辞 追悼式実行委員長 内閣総理大臣 野田 佳彦
- 6 天皇陛下おことば
- 7 閉式の辞

【復興祈念式典】

- 1 開式の辞
- 2 式辞 青森県知事 三村 申吾
- 3 被災市町代表挨拶 八戸市長 小林 眞
- 4 被災地からの意見発表 八戸市立下長中学校二年 黒坂 真央
- 5 陸上自衛隊講演 陸上自衛隊八戸駐屯地司令 水落 嘉彦
- 6 復興の状況説明 青森県生活再建・産業復興局長 竹内 豊
- 7 吹奏楽演奏 八戸ウィンドアンサンブル
- 8 閉式の辞

青森県東日本大震災追悼式・復興祈念式典 被災市町代表挨拶

青森県東日本大震災追悼式・復興祈念式典にあたり、被災市町を代表いたしまして、御挨拶を申し上げます。

1年前の今日、3月11日、午後2時46分。あの時刻が来るまでは、いつもと変わらぬ金曜日の午後の営みと、春の訪れを待ち望む弥生の光景が、この国の中にあふれておりました。週末の忙しい時間を職場で過ごす方々、あるいは、くつろぎのひとときを過ごす方々、学校では帰宅を前に子ども達の明るい笑顔もあったことでしょう。

しかし、何の前触れもなく発生したあの大地震と、襲来した大津波は、容赦なく東日本各地に牙を向き、多くの尊い命を奪ったのみならず、地上にある人々の営みを破壊し、大きな悲しみの傷痕を私達に残しました。また、電気・ガス・水道・電話といったライフラインの途絶や、石油燃料の供給困難などにより、被災地以外も含めた国内の都市機能は麻痺に陥り、長きにわたる混乱の日々を余儀なくされたのであります。

改めまして、お亡くなりになられた全ての方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

八戸市はこれまで、大きな災害に幾度も見舞われ甚大な被害を受けて参りましたが、その都度、困難を克服し復興を遂げてきた街であります。私の脳裏にも、チリ地震大津波や白銀町大火、十勝沖地震を体験した記憶が、幾年月が流れた今も鮮明に残っております。

しかし、今回直面した大震災は、それらを上回る危機的状況を示しておりました。怒涛押し寄せる黒い高波、船底を見せ力なく横たわる漁船、なぎ倒された建物とがれきの山、そして、悲嘆に暮れる人々の姿。変わり果てた八戸を目にした私は、市民の安全・安心を早急に確保し、重くのしかかる先が見えない不安を一日も早く取り除くことを第一の使命として、被災された皆様の生活再建や、多大な損害を被った地域産業の再興、津波により損壊した漁港・港湾施設をはじめとする都市基盤の再建など、災害復旧施策に全力であたって参りました。

このような中、官民の枠を越えた関係各位のお力添えとともに、国内外を問わず多くの方々から、様々な形による温かな御支援をいただきました。皆様からの御厚意と絆の気持ちが、私達の心の大きな支えとなりましたことを、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。おかげ様をもちまして当市は、震災に負けまいとする一人ひとりの強い意志と行動力によりまして、一步一步着実に復旧から復興への歩みが進んでいるところであります。

また、復興は現在の市民のみならず将来の市民のためのものという考えのもと、今回の経験・教訓をハード・ソフト両面に生かした更なる災害に強いまちづくりに向けて、昨年9月に八戸市復興計画を策定しており、国による復興特区や復興交付金制度なども活用した、北東北の中核都市にふさわしい創造的復興の実現に取り組んでおります。

人々が今なお“夢の大橋”と呼び、海から拓け、海と共に歩んできた当市発展の象徴である八戸大橋の上からは、「八戸は海と共にある」と刻まれた記念碑が、静かにこの街を見守っております。海、そして自然への畏敬の念を忘れることなく防災力を高めるとともに、先人先達が見出し積み上げてきた当市の潜在力を、私達の世代で一層引き出すことができるならば、必ずやこの困難は乗り越えられ、次の世代へと引継がれる夢と未来が切り開けるものと、私は確信しております。

八戸市民は、より強い、より元気な、より美しい八戸の実現を目指し、心を一つにして東日本大震災からの早期復旧・復興を成し遂げる所存でありますので、皆様におかれましては今後も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

平成24年3月11日

八戸市長 小林 眞

2 3.11津波避難・情報伝達訓練

津波に関する市民の理解と関心を深め、防災意識の向上を図るとともに、東日本大震災の記憶を風化させないことを目的として、青森県及び県内沿岸22市町村の主催で、津波を想定した避難訓練が行われた。

八戸市では小中野地区で実施し、住民や消防団、町内連合会、民生委員、自主防災会、警察、消防など約800人が参加した。

日 時 平成24年3月11日(日)午前9時30分～11時

場 所 小中野地区(小中野小学校、小中野中学校)

主 催 青森県及び沿岸22市町村(うち津波避難訓練は8市町村で実施)

参加団体 青森県、青森県警察本部警備第二課、八戸警察署、八戸東消防署、八戸市消防団、小中野町内連合会、小中野地区民生委員、小中野地区自主防災会、小中野小学校、小中野中学校、八戸市他

被害想定 平成24年3月11日(日)午前9時30分に地震発生。大津波警報が発表され、八戸市は避難指示を発令した。

訓練項目

①情報伝達・広報訓練

- ・消防車両、警察車両、防災無線、市広報車、ほっとスルメール、エリアメール等による広報
- ・青森県と市との情報伝達訓練

②避難訓練・避難誘導訓練

- ・津波避難訓練(全体が津波浸水すると予想される町内を対象)災害時要援護者等30分程度で小中野中に避難できない方は小中野小学校2階へ一時避難→(バス)→小中野中学校へ避難一般の避難者は小中野中学校へ直接避難
- ・消防署・消防団・八戸警察署による津波避難誘導訓練
- ・自主防災会による避難所運営訓練

○避難者数 651人



参加者の避難の様子



体育館を埋め尽くすほど多くの方が参加した

3 はちのへ弥生灯火会

はちのへ弥生灯火会は、東日本大震災からちょうど1年が経過した平成24年3月11日に、震災で甚大な被害を受けた蕪島で実施された。

実施に際しては、八戸商工会議所経済復興支援会議を事務局とし、当市のほか社団法人八戸青年会議所等12団体によりはちのへ弥生灯火会実行委員会が組織された。また、地元住民及び高校生ボランティアの協力もあり、市民を挙げて運営に当たった。

蕪島前広場では、ステージイベントが行われ、被災した学区の児童3名による復興・未来への誓い、鮫小学校5年生による合唱、陸上自衛隊八戸駐屯地による八戸陣太鼓のほか、八戸えんぶりなどがステージで披露された。さらに、蕪島周辺では、当企画のメインである、市内小学校31校の児童がひとつひとつ思いを込めて作成した置き灯ろう約3,700個を設置したほか、鮫浦漁協の協力を得て1,000個の流し灯籠を海に浮かべ、犠牲者の御冥福をお祈りした。

はちのへ弥生灯火会の会場となった蕪島はウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されており、一年前のこの日も、多くのウミネコが飛来し、産卵の準備を始めていた。しかし、地元の方によると、震災当日はウミネコの数が出なかったということである。甚大な被害を受けた蕪島周辺で実施されたはちのへ弥生灯火会は、一



年前のことを忘れてはならないということ、そして、震災に負けまいと一人一人の強い意志と行動力により、着実に復興への歩みが進んでいることを再認識できたものであった。

平成25年5月には、はちのへ弥生灯火会の舞台となったこの蕪島が北の玄関口となり、種差海岸が三陸復興国立公園に指定される予定である。また、国により、蕪島から福島県相馬市松川浦までの約700kmにわたる東北海岸トレイル構想も進められている。多くの利用者が蕪島を訪れ、三陸海岸全体への誘客が図られ復興が促進されることを期待する。

4 その他の1周年行事

○イベント・フォーラム等

八戸震災復興チャリティーイベント「氷の力」ドリームパーティ2012

開催日 平成24年3月10日(土)
場 所 テクノルアイスパーク新井田
主 催 「氷の力」実行委員会
内 容 ディズニーキャラクター公演、ちびっこアイスホッケー、ビンゴゲーム 他

・・・やっぱり八戸が好き ～365日目の想い～

開催日 平成24年3月10日(土)
場 所 はっち
主 催 八戸市、八戸商工会議所、NPO法人ACTY
後 援 八戸観光コンベンション協会、Be-FM、八戸中心商店街連絡協議会
内 容 写真展、コンサート、ダンス、スクリーンメッセージ、キャンドル灯火 他

東日本大震災フォーラム ～土木施設の被害と復旧～

開催日 平成24年3月10日(土)
場 所 八戸グランドホテル
主 催 東日本大震災フォーラム実行委員会(主管:八戸工業大学)
共 催 国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所、青森県三八地域県民局、八戸市 他
内 容 基調講演、研究発表

「Lighting Symphony はちのへ冬灯り」イルミネーション点灯

開催日 平成24年3月11日(日)
場 所 市庁前ロータリー
主 催 まちなかイルミネーション実行委員会

「八戸みなと朝市まつり」～元気をここから青森・岩手～

開催日 平成24年3月24日(土) 25日(日)
場 所 館鼻岸壁
主 催 八戸みなと朝市まつり実行委員会

平成23年度トーキングカフェ

開催日 平成24年3月24日(土)
場 所 はっち
主 催 八戸市
内 容 被災者支援などで活躍された女性の皆さんと市長が防災体制・災害支援に必要なと思うこと、市の復興に期待することなどについて意見交換を行う。

○資料展・写真展等

資料展示「東日本大震災関連資料展」

開催日 平成24年3月1日（木）～15日（木）
場 所 図書館
主 催 八戸市

資料展示「～東日本大震災から1年～現在までの道のり」

開催日 平成24年3月1日（木）～29日（木）
場 所 南郷図書館
主 催 八戸市

「きぼうのて」プロジェクトTAMA・HACCHI同時開催展覧会

開催日 平成24年3月3日（土）～18日（日）
場 所 はっち
主 催 多摩市立豊ヶ丘小、大船渡市立第一中、東京都図画工作研究会、
共 催 八戸市
提 携 公益財団法人多摩市文化振興財団（パルテノン多摩）
内 容 きぼうのてプロジェクト（多摩市立豊ヶ丘小と大船渡市立第一中による、人々を励ます手の写真等の制作を通じた交流）の作品展をはっちとパルテノン多摩で同時開催

東日本大震災フォーラム・パネル展

開催日 平成24年3月6日（火）～8日（木）
場 所 はっち
主 催 東日本大震災フォーラム実行委員会（主管：八戸工業大学）

東日本大震災写真展

開催日 平成24年3月10日（土）～16日（金）
場 所 はっち
主 催 八戸市



東日本大震災写真展の様子



写真展の会場にはお茶席が設けられた